

会議録（宝達小学校質疑）

会議名	小学校統合説明会
日時	令和3年7月21日（水） 午後7時30分～午後8時50分
会場	町民センターアステラス 研修室
出席者	町長：寶達町長、細江教育長、笠松学校教育課長、秋田課長補佐、松原主幹、中橋主幹 保護者：31人
次第	<ul style="list-style-type: none">・ 開会・ 町長挨拶 ・ ・ ・ 会議録（会場共通）を参照・ 統合に関する説明 ・ ・ ・ 会議録（会場共通）を参照・ 質疑・ 教育長挨拶 ・ ・ ・ 会議録（会場共通）を参照・ 閉会
質疑	<p>●質問 そもそもこの話は決定事項ですか。それともこういう方針で進めたいという方針の説明会ですか。</p> <p>○回答（町長） これでやっていきたいということでお示ししています。</p> <p>●質問 ということは、決定ではないということですか。</p> <p>○回答（町長） 我々の方針としては決定しています。</p> <p>●質問 ということは、予算が通らなければ、令和3年10月の基本設計とかも無くなるということですか。</p> <p>○回答（町長） そうです。 9月の議会に基本設計の予算を出し、ご理解いただけるようにしっかりと説明して進めていきたいと考えています。</p> <p>●質問 各小学校が合併しますが、保育所は一緒に小学校で離れて、ということも</p>

あると思いますが、自由に選択できるのでしょうか。

例えば、今、相見保育所に通っていて、校下は宝達という場合、離れたくない場合は、相見小学校に行くことはできるのですか。

○回答（教育長）

宝達小学校へ上がるお子さんが相見小学校に行くと、宝達小学校がどんどん減って複式が進み、より小集団になっていきます。そうした時に宝達小学校に通うお子さんが、学びの不利な点が出てくるということで、原則、宝達小学校へ行っていたきたい。

●質問

押水地区が相見小学校、志雄地区が志雄小学校になった経緯を教えてください。

○回答（教育長）

志雄地区では、志雄小学校は3学級対応の学校で、統合した時に部屋数を十分とれます。また、樋川小学校は令和10年には複式が迫って来ています。

押水地区では、相見小学校も、統廃合した時に学級数がそれに対応する仕様になっていますので、他の学校へ集めて部屋数を新築するよりも、今ある学校を改修して、第一小、宝達小の子どもたちを集めることを考えています。

●質問

相見小学校の場所だと、津波とかの災害はどうなるのでしょうか。

○回答（町長）

津波の想定が出されており、町内では考えられる大きな津波であっても里山海道までしか来ないという推計が出ています。

絶対大丈夫ではないかもしれないし、海には近くなりますが、そういったことを想定した訓練はしなければならないし、校舎の上の方に行くとか、高いところに逃げるとか、そういったことはしなければと思っています。

●質問

無くなった小学校や保育所は、子どもたちのために使うことは出来ないのですか。今も宝達保育所は何もしていない状態で、例えば公園を作るとか子どもたちのためになることは何も考えてないのですか。

○回答（町長）

子どもたちのためにといいことも考えていますし、校舎を活用して取り組んでいけないかということも、今考えているところなので、また、皆さま方にお示ししたいと考えています。

●質問

校舎の活用について、同じようなことを宝達保育所の統合の際も言っていたが、未だに何も活用されていません。今の町長の発言に、どれくらい信憑性があるのでしょうか。

○回答（町長）

宝達保育所については、老朽化も進んでいるので、解体を進めていこうと考えています。

小学校についても、建物も古いということで、使っていけるかどうかということ調べてうえて、子どもたちのためであったり、地域の皆さんのために有効に使えるように、そんな施設に出来ればと考えています。これは、信用いただいて結構です。

●質問

解体後の保育所の跡地は何をするのか。

○回答（町長）

住宅地であったりとか、民間の方に活用していただけるように進めていきたいと考えています。宅地に限らず、有効に使えるように進めていきたいと考えています。

●質問

小学校も、保育所も近くにない所に宅地を作って、そこに誰が住むのか。

○回答（町長）

土地を求めた方がどのように使われるか、その前に目的があるのでしょうか、宅地でなく、その他に使うことがあれば、お求めになる方もいると、全然使い勝手が悪い場所ではないと思っています。

●質問

そういうところを含めての統廃合の検討なのではないかと思うのですが、結局、そこだけふわっとした感じで、統廃合ありきで進めているように思うのですがいかがでしょうか。

○回答（町長）

今は、統廃合ありきということで進めています。子どもたちのために、学ぶ良い環境を作っていかなければならないと思っており、統廃合は進めていきたい。その上で、学校については校舎をどう活用していくか、よく考えてやっていきたいと思っています。

●質問

2校に統合するというのですが、資料をみると令和に入ってからもの凄く子どもの数が減っています。1校に統合とか、小中一貫校の検討はしたのですか。

○回答（教育長）

1校にすると、更に統廃合が遅れます。というのは、まず、どこに建てるかという土地の問題、それから、残念ながら未だに志雄地区、押水地区のどちらに建てるかといったときに、例えば志雄地区に建てるとなった時に、押水地区からはそれは駄目だというご意見もいただいています。反対に押水地区に建てるとした時には、志雄地区からも反対の意見があって難しい。そういったことを詰めていかなければいけないのですが、そうした時に子ども達が少なくなっていく学校では、学びの機会が失われていく、そのため、まずは出来るところから進めようと考えています。

それから、小中一貫校について、今だと宝達中学校の側に建てるということになり、それもなかなかかなわない部分もあります。また、特認校とか特例校とかも調査しましたが、難しいところがあります。

●質問

保育所が統合して宝達保育所が無くなり、相見保育所に通っています。今の2年生は相見保育所に行って新しい友達に混ざり、小学校は宝達小、そしてまた、6年生になったら新体制の小学校になる。行ったり来たり。

今の年少さんも、1年間は分かれて、1年後にまた会ったねって。宝達保育所の時も交流会とか、子ども達のケアみたいなことをしてもらいましたが、子ども達への対応はどのように考えていますか。

○回答（教育長）

子ども達が、統廃合の関係で行ったり来たりということ、私が就任してから調べさせてもらいました。そういったことが無いように、出来るだけ早く相見小に統廃合した方が良いという結論で、今に至っています。

そのために、先ほども話のあった、本当は相見小学校に行きたいのだけれども、宝達小学校の校区を特認校としたときに宝達小学校の方々がどんどん減ってくることが予想されます。

そういったことがないように、一刻も早く相見小学校へ統廃合を進めていきたい。その間の子どもの対応については、難しい対応を検討しなければならないと思っています。

●質問

一刻も早く。といったら、子どもたちの気持ちが追いつかないと思います。

大人の事情で、子どもを巻き込んでいるのではないですか。

○回答（教育長）

待てば待つほど、子どもたちにそういう不利益がおよびます。そういったことがないように、学びの保障を、安定した保障が出来るようにしていきたいと考えています。

●質問

だったら、もう少し詳細を詰めてから説明会を開いたらどうですか。まだ何も決まっていない。そういうふわっとしたことだけ聞かされて、そして、一刻も早く、一刻も早くとか、さっきから、あっちへ行ったり、こっちへ行ったりしている。

○回答（教育長）

ふわっとしているということですが、今、色々なことを詰めており、基本設計へ向けて動いています。その設計内容によってどのようなことがおきるか、検討する内容もあります。今ここで、こうだ、とはっきり言える状態ではありませんが、何一つ決まっていないという訳ではなく、順次進んでいるところです。何も決まっていないということではないので、ご理解いただきたいと思います。

●質問

そもそも、この方針はどうやって決まったのでしょうか。前は、有識者会議を開いて決めていると思いますが、6月でしたか、いきなりポンと出て来たような気がします。

○回答（町長）

6月の議会で実施したいと申し上げましたが、その前の令和2年3月の議会で、ここ2年間の出生数を見たと判断をさせていただきたいと申し上げています。その数が把握できたということで、突然という感覚をお持ちかもしれませんが、議会であったりさまざまな場で、必要であることそのうえで学びの保障ということをお示ししてきたので、ご理解いただきたいと思います。

そして、色々決めてからしなければならぬというお話ですけれども、例えば建物であれば、基本設計をしたうえで進めていかなければなりませんし、そういったことをする前に、皆さんにこういう方針であると、大変大まかな内容ではありますが、ご説明しなければと思っています。

また、こういう機会にいただいた、ご意見、ご要望に出来るだけ沿った形で統廃合を進めていきたいと思っていますので、よろしくお願ひします。

●質問

出生率が下がっていることは、前もって分かっていた事実で、第一小学校の修繕費であったり、宝達小学校の冷暖房を完備したりして、多くの税金を使っていると思います。修繕する前に統合に向けてもっと早く動き出せたと思いますかどうですか。無駄な税金ではないのか説明して欲しい。

○回答（町長）

色々な考えをお持ちの方がいる中で、我々としては、できるだけ円滑に進めていかなければなりません。早くして、もっと待て、という意見もあり、出来るだけ多くの方にご理解いただいて進めていかなければ、その上で新しい学校においても、例えば、宝達の小学校は無くなってしまおうわけですが、そうであっても保護者の皆さんであったり、地域の皆さんに新しい学校についてご支援いただきたいと、そのためにも、じっくりと検討しながら、さまざまなことを進めてきたところです。

あと、エアコンについて、無駄ではないかというご指摘ですが、補助金を使ってやっていますし、補助金もゆくゆくは税金だと、必ずしもそうではないと思います。学校がある限りは、しっかりと良い環境を整えて、暑いときであれば、しっかり勉強ができるように冷房が効くような環境にしておかなければならないということでやってきています。大きなお金がかかることですが、財源の無駄遣いがないように、これまでも進めて来たところなので、ご理解をお願いします。

●質問

準備委員会について、令和3年度からスケジュールが決まっていますが、誰が主催とか、どういった場で決めるとか、いつ開催するとか、そういった具体的なことは決まっているのですか。

○回答（学校教育課長補佐）

7月の、今の保護者説明会が終わったら、8月にPTAの役員の方に集まってもらって、準備委員会について協議したいと思っています。

●質問

役員は、町の役員ですか、それとも各学校の役員ですか。

○回答（学校教育課長補佐）

各学校のPTA会長、副会長、母親代表となります。

●質問

そこで詳しく、今後の流れは、決めるというか、教えてもらえるのですか。

○回答（学校教育課長補佐）

その中で、PTAの中で、相談しながら決めていきたいと思っています。

●質問

PTAが拒否したらどうするのですか。

○回答（学校教育課長補佐）

できるだけ出ていただけるように、ご理解をお願いしたいと考えています。

●質問

それでも拒否したら、委員会は進むのですか、進まないのですか。

○回答（教育長）

統廃合に向けて賛同できないから、拒否するというPTAがあったらどうするかということですが、その時に第一に考えていただきたいのは、子どもたちの将来についてです。ここは、大人が考えていかなければならないことで、子どもたちの学び、それから成長のこと、今、最善で何が出来るかといったことを共に話し合っていく、PTA、学校、教育委員会でいけたらと考えています。

●質問

今の発言だと、子どもの教育を人質に取るというふうに聞こえますが。

○回答（教育長）

そういったことではなく、皆さんと共に子どもたちの今現在における最善の策を共に考えていきましょう。人質ではありません。考えるのは私たち大人、子ども達をとりまく大人です。多様な考え方が当然あることは分かっています。100人いて100人が賛成ということは中々ない。そのために会合を持ち、その場で皆さんが納得できる、最大多数になるかもしれませんが、その中で少数意見とかはどうするのかという話しもあるとは思いますが、私たちが共に考えて行くのが責務だと思っています。

●質問

その中で、町の考え方をこのように一方的な形で押しつけるというのが方針ということでよろしいですね。

○回答（教育長）

町の考え方が一方的だということではなく、共に考えましょうということです。

●質問

ということは、統廃合ありきではないということでしょうか。

○回答（教育長）

統廃合については、数年前から2校にするという話が動いていたと思います。ただ、その時に、色々な考え方があったと聞いています。そのために数年かけて検討し、最終的に決断したと聞いています。

●質問

その数年間の検討の流れが、この中にはみえてこないのですが、どういう検討があったのですか。

○回答（教育長）

今説明しました、子どもの学びをまず大事にしようと。子どもたちにとってということ、今回重点的にみました。子どもたちの学びということで見直しをかけました。

●質問

その中で、1校への統合の検討もあったのですか。

○回答（教育長）

1校の良さもあり、2校の良さもあります。その中で2校の良さを選択しています。

●質問

2校の良さとはなんですか。

○回答（教育長）

先ほども申したように、お互いを認め合って切磋琢磨する環境のことで

●質問

それは1校でも成り立つのではないですか。

○回答（教育長）

いいえ。子どもたちにとって、もう1つの学校があるということが非常に大事です。石川県の各地区をまわってきましたが、1校だけではなく、もう1校ある場合、切磋琢磨、学校同士の交流が非常に有効だといわれています。

●質問

それは誰が言っているのですか。

○回答（教育長）

誰かという、私がとなるのかもしれませんが、その地区の方々、校長先生なり、地区の方と話した時に聞いた話になります。統計的に誰が何人という話しではありません。

●質問

子どもたちの学びが第一で、集団の方が良いというジャッジなのであれば、統合で4年もかける意味がちょっと。校章とかどうのよりも、先に1校で集めて走ってしまって、後で決めるということでも良いのではないですか。学びが第一になっていないのではないですか。

○回答（教育長）

その辺も検討し、できれば来年からでも入れたい。そういう考えはあります。ところが、その設備について、安全性を高めていって、長寿命化をしないと中々動けません。先ほどから、行ったり来たりという話しもあって、一刻も早くと言ったのも、最長で4年、色々な設計の仕方によって、改修の仕方によっては更に短くなることも視野に入れています。

ただ、私は専門家ではないので、設計の段階とかで色々なところを見たときに、おおよそ3年8ヶ月みておけば大丈夫だろうと、ただし、それが新しい工法とか、ここはさわる、ここはさわらないとか削っていった場合に早くなる可能性も秘めていることになります。それが、基本設計の段階でみえてくると思います。例えば、志雄小学校を一切さわらないとした時には来年からでも統廃合はできますが、そういう訳にいかない部分があるので、調べているところです。

●質問

先ほども話がありましたが、校名とか、校歌とか、校章とかそういったものはどうでもいいです。合併する代表の小学校の校歌とかそのまま使えばいいと思います。いらぬ所に時間を使わなくてもいいと思います。

○回答（町長）

そういう考えも、一つの考えかと思えます。もしかしたら、そんな風になるかもしれません。それも準備委員会の方でご検討いただきたいのですが、学校の名前とかは大事なものですし、歌もそうです。学校のシンボルになりますし、皆さんの記憶に残っていく大事なものですから、それをどうするかというのは、どうでもいいということではなく、皆さんにご検討いただいて、考えていかなければと考えていますので、よろしくお願いします。

●質問

制服はどうなるのですか。例えば、宝達小学校の制服を1年生になった子が買いました。合併しました。その後はどうなるのでしょうか。バラバラってことでしょうか。各学校の3校の制服のまま6年間過ごすのか、とか色々あると思いますが、そういうことは何も考えていないのですか。

○回答（学校教育課長補佐）

中学校統合の例から言うと、新しい制服、それから体操服に変更して、それを着用していました。小学校についても、中学校の例に沿った形で準備委員会の中で協議していきたいと思っています。

●質問

それは、保護者負担ですか、学校負担ですか、町負担ですか。そこも大事なところだと思うのですが。

○回答（学校教育課長補佐）

そこも含めて、準備委員会の中で、協議していきたいと思っております。

●質問

まだ、何も決まっていないということですか。

○回答（学校教育課長補佐）

今のところは、ご説明したとおりです。

●質問

最初に町長が、保育所の先生、小学校の先生に聞いたところ、賛否両論あったと言われていましたが、先生方は具体的にどういうことを言われていたのですか。

○回答（町長）

統廃合に慎重なご意見としては、学校は小さくても良い教育は行えていると、みんな仲良く頑張っているし、地域の支えもあって良い学校であるから、出来るだけ残していけばどうか。というご意見であったし、統合した方が良いというご意見の方は、大人数の方が良い教育が行えるのではないかと、残念だが一つの方が良いのではないかという考えでした。

●質問

出生数を見ると、すごく減っているということが良く分かりました。統廃合も仕方ない部分があるかと思うのですが、長期的なことをよく考え

て、無駄遣いがないようにして欲しいと、目先の問題をなんとかするというのではなく、この町の子どもたちがずっと通えるような、そういうことを長い目で考えて欲しいと思います。

統廃合は仕方ないと言いましたが、統廃合して良かったと全員が思えるようにして欲しいです。そのために先ほどから学びの保障とか、教育の質を高めるとか言われているが、統廃合をするのであれば、どういう所に力を入れていくのかということと、あと、改修の規模ですが、部分的な改修なのか、全面的な規模でやるのか教えてください。

○回答（教育長）

当然、統廃合して良かったということに繋がらないと、この統廃合に意味がありません。その2校において、地域の学習をより取り入れていく。宝達小学校では、例えばアサギマダラとか、くずの勉強とか、色々と地域学習をやっていますが、それをなくすのではなくて、それも取り込んで、3校でどのようなことが出来るかを見つけていく、新しい地域学習を取り入れていかなければならないと思っています。

各学校で、文科省が薦めていることは当然やっていかなければいけないことです。GIGA スクール構想とか、それは当たり前やって、その上でその地域のことをどこまで取り入れるか、それはこれから3校で、調整していかなければなりません。いずれにしても、良かったと思えるように、みんなで知恵を出しながらいければ良いと思っています。

改修の規模は、全体的なことを考えています。傷んでいるところは修繕していくということで4年ぐらいかかると、調査したりするのにかかるので、その部分をご理解いただきたいと思っています。

●質問

かほく市の外日角小学校とか、七塚小学校のような感じをイメージしていれば良いのでしょうか。

○回答（教育長）

その学校についても調べましたが、七塚小学校と外日角小学校とでは改修の進め方が違っていました。外日角小学校は騒音があって学習が難しかったと、七塚小学校は学習し易かったと担当からは聞いています。その辺についても基本設計で、音が出るものについては、夏期休業中、長期休業中に行うとか、そういうことを調整していかなければならないと思っていますところ

●質問

現在の相見小学校を全体的に改修するということになると思いますが、プレハブを建てて、半年か、1年か分かりませんが、子どもたちは引っ越しを

して学ぶという感じになるのですか。

○回答（教育長）

そういったことも検討しています。その時にどういった工事が必要になってくるか、相見小学校に統合する時に、どこに手を入れなくてはいけないかと、そういったことをプロの目で見えていただくということで進めているところです。

●意見

全体的に綺麗な校舎になると、皆様のご理解も得られやすいと個人的に思っています。

●質問

学級数ですが、平成25年度出生年度の子で、押水地区では38人います。1クラスになるのか、2クラスになるのか、文科省の方で、令和7年度には全学年35人学級という話が出ていると思いますがどうでしょうか。

○回答（教育長）

おっしゃるとおり、毎年、学年を上げながら35人学級の実現に向けて動いているところです。35人を1人でも超すと、2学級になりますので、先ほどあった38人のところは、2学級となります。

●質問

表1を見ると、令和7年度の押水地区を見ると、6年生2クラス、5年生1クラス、4年生1クラス、3年生1クラス、2年生2クラス、1年生2クラスということでよいでしょうか。

○回答（教育長）

そういうことになります。この後の人の出入りによって変わりますが、今のところ文科省はそういう予定で動いています。

●質問

統合した時、令和7年度は、35人学級と考えていけば良いでしょうか。

○回答（教育長）

今のところ、35人になると聞いています。

●質問

制服のことで、押水地区、志雄地区、宝達小学校以外はブレザーだと思いますが、いざ、換えるとなると一式換えるとか、そのままがいいとか、保護

者からすると結構な負担になります。子どもが多く、上の子が中学校に上がると同時に下の子が1年生とかだとお金もかかるので、そのあたりをもう少し早めに検討して欲しいです。

校歌とかどうでも良いので、制服とか、お金に関することを先に考えて欲しいという考えでいます。そこら辺どうなのか教えて欲しいです。

○回答（学校教育課長補佐）

今、お話のあったことを、準備委員会の中で、それも含めて協議していきたいと思っています。

●質問

それは、その都度、その都度、保護者の意見は聞いてもらえるのですか。こういう説明会も開いてくれるでしょうか。

○回答（町長）

制服のことですが、準備委員会で検討いただくことについては、折りをみてというか、お聞きしなければならない時に、アンケートとか形は分かりませんが、お聞かせいただいたりとか、また、決まっていくことについては、皆さんにもしっかりお示ししていきたいと考えているところです。

そして、統廃合について、役場の方でもホームページを作って情報の発信であったり、皆さんから伺ったりとかそんなこともしていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

●質問

学校を残す、残さないの話で、自分の子どもも、無くなるのは悲しいと、思い出のある学校だから残して欲しいと、やはり子どもからもそういう意見が出ているので、大人だけの意見ではなくて、子どもからの意見も聞いた方が良いのではないかという思いがありますが、その辺はどうでしょうか。

○回答（町長）

そういったように、子どもたちの意見を取り入れていくということも、良いことかと思いますので、検討させていただきます。

●質問

子どもに対して、もう少し真剣に考えて欲しいという考えもあるのですが、大人だけの意見で進めて行っても駄目だと思います。子どもの通う学校なので、大人だけの意見で進めても駄目だと思うのです。卒業生もいる訳で、思い出のある場所だと思うのです。夫も通っていた小学校だから、残して欲しいという人も、保護者の中にもいると思う。なので、もう少し真剣に考えて欲しいという面もあります。

○回答（町長）

今のご意見のように、私も宝達小学校の卒業生ですし、思い入れというのは当然ある訳ですが、おっしゃられたことは、本当に大事なことだと思っています。色々な方が、それぞれに思いがあったり、ご意見をお持ちであるということは、しっかり考えなければならないし、何よりも子どもたちのために良いことかどうか、統廃合を進めて行くにあたっては、色々なことを検討して実施していかねばなりません、よく考えながらやっていかねばと思っています。

今いただいたご意見を、しっかりと受け止めて、踏まえてやっていきたいと思しますので、よろしくお願いします。

●質問

4ページの組織図を見ると、準備委員会が一番上に来ていますが、準備委員会が決裁権限があると考えて良いのでしょうか。例えば、教育長とか町長の意見と争いが出た場合は、準備委員会の決定が第一で、そっちを優先というイメージで良いのでしょうか。

○回答（町長）

準備委員会で、結論が出たことは、当然、尊重していかなければいけないと思えます。私が個人的なことでバツということは、よっぽどの事がない限りいたしませんので、よろしくお願いします。

●質問

平成25年度に生まれた子が、6年生になった時に2クラスという話がありましたが、今の人数だと19人ずつに分かれることとなります。そうすると、宝達小学校から9人で、1年生から5年生まで学んできた子が、2クラスに分かれるとなった時に、学校も変わって、友達とも離れて、不安定なことになったら、親としても心配なので、そういう面も考慮していただいて、質の高い教育をしていただきたいと思えます。そういう所も、子どもたちの心の面も十分考えていただいて、統合を進めるなら、していただきたいと思っています。

話を聞いていると、安定した学びの保障ということを話されているので、子どもたちが安定して学んでいけるように十分考えていただきたいと思えます。

○回答（学校教育課長）

統合当初に仲間がまだ馴染まない間、同じ小学校の出身者を分けずに同じクラスにしているという例は今までもありますので、その辺も十分検討していきたいと思えます。

●質問

人数を見ている限り、統合は仕方ないと思うのですが、うちの子は保育所の無くなる年だったので、すごく覚えていて、今度この話を聞いた時に、私たちのことは嫌いなのか？ということ子どもから聞きました。町長さんは私たちのことを嫌いなの？って。なので、できれば小学校に出向いていただいて、子どもたちに分かる言葉で説明していただけたら良いなと思いますのでよろしくお願いします。

○回答（町長）

当然、そのようなことは無いのですが、そのように思われてしまっていることについては、今おっしゃったような、何らかの説明なり、フォローなりについて考えてみたいと思っております。お帰りになったら、そんなことは無いと言っていたとお伝えいただきたい。

●質問

私から言っても、

○回答（町長）

言っていたと、とりあえずお伝えください。

○回答（教育長）

統廃合の話で、宝達小学校の子どもたちが、他の集団が大きいということで不安があるということは当然のことです。統廃合に向けて学校間交流を準備段階として取り入れて、子どもたちの交流は進めて行きます。明日から突然3校集まるといったことではありません。その前に出来るだけ交流をすると、今はオンライン学習をやっていて、そういったことでも交流できますし、それと実際にふれ合う、そういったことを取り入れて、4年後に速やかに、安心していけるようにしていきたいと思っています。当然心の問題が統廃合の学校では一番大事にしていかななくてはいけないことで、生徒指導には一番気を遣うところです。そういった面で出来るだけ交流を増やしていくということを考えています。

●意見

廃校舎の跡地の活用ですが、3ページに健康でたくましい体力の保持増進とあります。近くに学校が無いと、子どもたちは外に出て遊ばないのではないかと思います。近くにみんなで遊べるようなところが、学校は遠くて自分たちの足では行けないので、自分たちの足で行ける今まであった校舎の所に、みんなで遊べるそんな所があったらいいなと思いますので、一意見として、聞いていただければと思います。

○回答（町長）

大切な考えであると思いますので、ご意見として、踏まえさせていただきたいと思います。

質疑応答終了